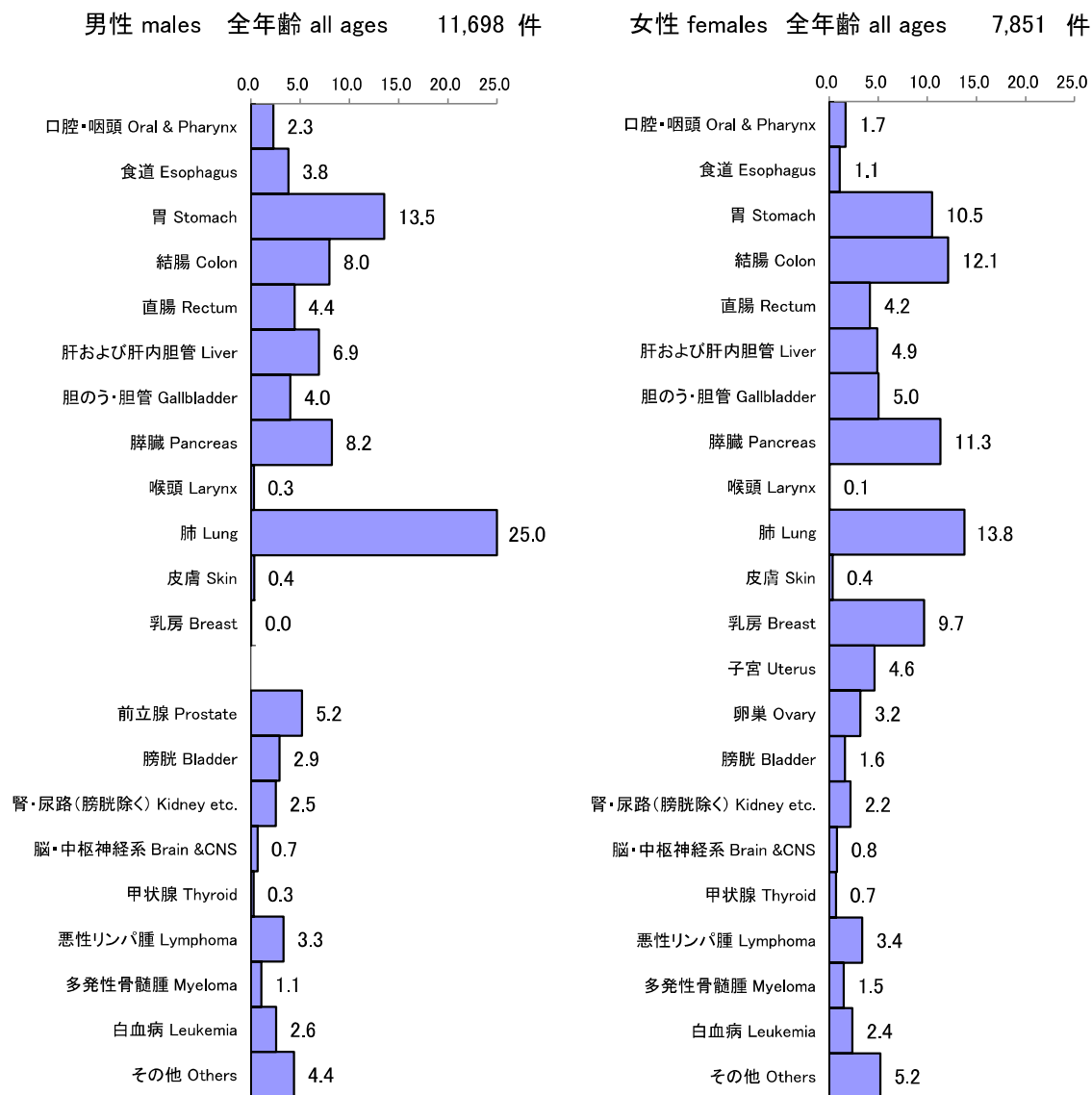


3. 死亡の状況 Cancer Death in 2019

2019年に愛知県において、男性11,698人、女性7,851人、計19,549人の方が、がんを原因として死亡された。部位別では、男性で最も死亡数の多い部位は肺であり、胃、膵臓、結腸、肝臓と続く。女性では、肺が最も多く、結腸、膵臓、胃、乳房と続く。男性の前立腺がんや女性の乳がんは、罹患率が比較的高かったが、死因としてそれほど多くないことがわかる(図9)。

図9 部位内訳(%) (表9から作成) Figure 9 Percentage of Cancer Death by site



年齢別にみたがんの死亡 Age-Specific Cancer death

男女ともに、愛知県で2019年にがんで死亡された方の約87%が65歳以上の方であった。ほとんどの部位のがんは、年齢が高くなるほどかかりやすくなるため、がんによる死亡者も高齢者が多い(図10)。

男性の年齢別がん死亡率は、30歳以下では白血病、脳・中枢神経系が高く、30-34歳では胃がん、35-39歳では大腸がんが高い。その後、40-54歳では肺がんと大腸がん、50-54歳はそれに加え膵臓がんが、55歳以上では肺がん、胃がんが高くなる。

女性の年齢別がん死亡率は、20歳以下では白血病、脳・中枢神経系が高く、20-24歳では卵巣がん、25-29歳では大腸がんが高い。その後、30-54歳では乳がん・子宮がんが高く、55歳以上では乳がんに加え、肺がん・大腸がん・膵臓がんが高くなる。(表11)。

主ながんの年齢階級別死亡率が千人に1人以上となるのは、胃がんでは男性70歳以上、女性85歳以上、大腸がんでは男性70歳以上、女性80歳以上、肺がんでは男性65歳以上、女性80歳以上である。それに加え男性では、75歳以上で膵臓がん、80歳以上で肝がん・前立腺がん、85歳以上で胆のうがんがそれぞれ千人に1人以上の死因となっている(図11)。

図10 年齢別内訳(%) (表10から作成)
Figure 10 Number and Percentage of Cancer death cases

年齢階層 Age group	14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
男性 Males	14	55	1,285	3,176	7,168	11,698
女性 Females	5	78	1,113	1,626	5,029	7,851
総数 total	19	133	2,398	4,802	12,197	19,549

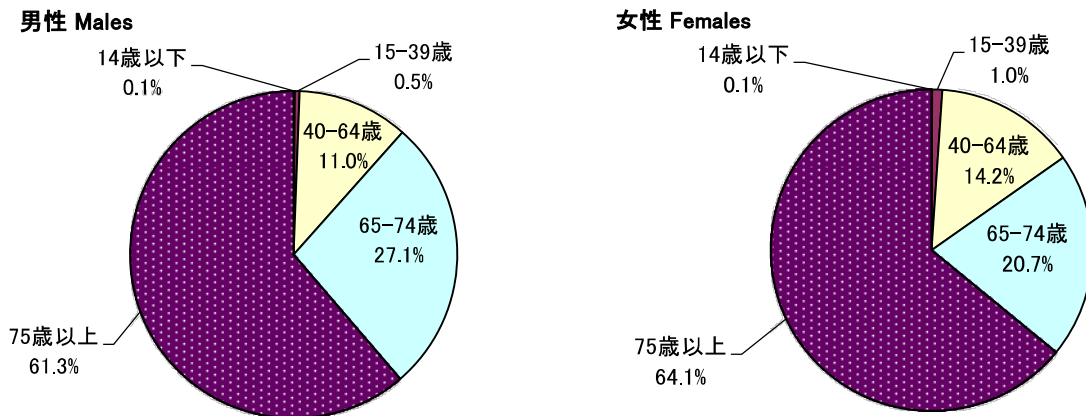
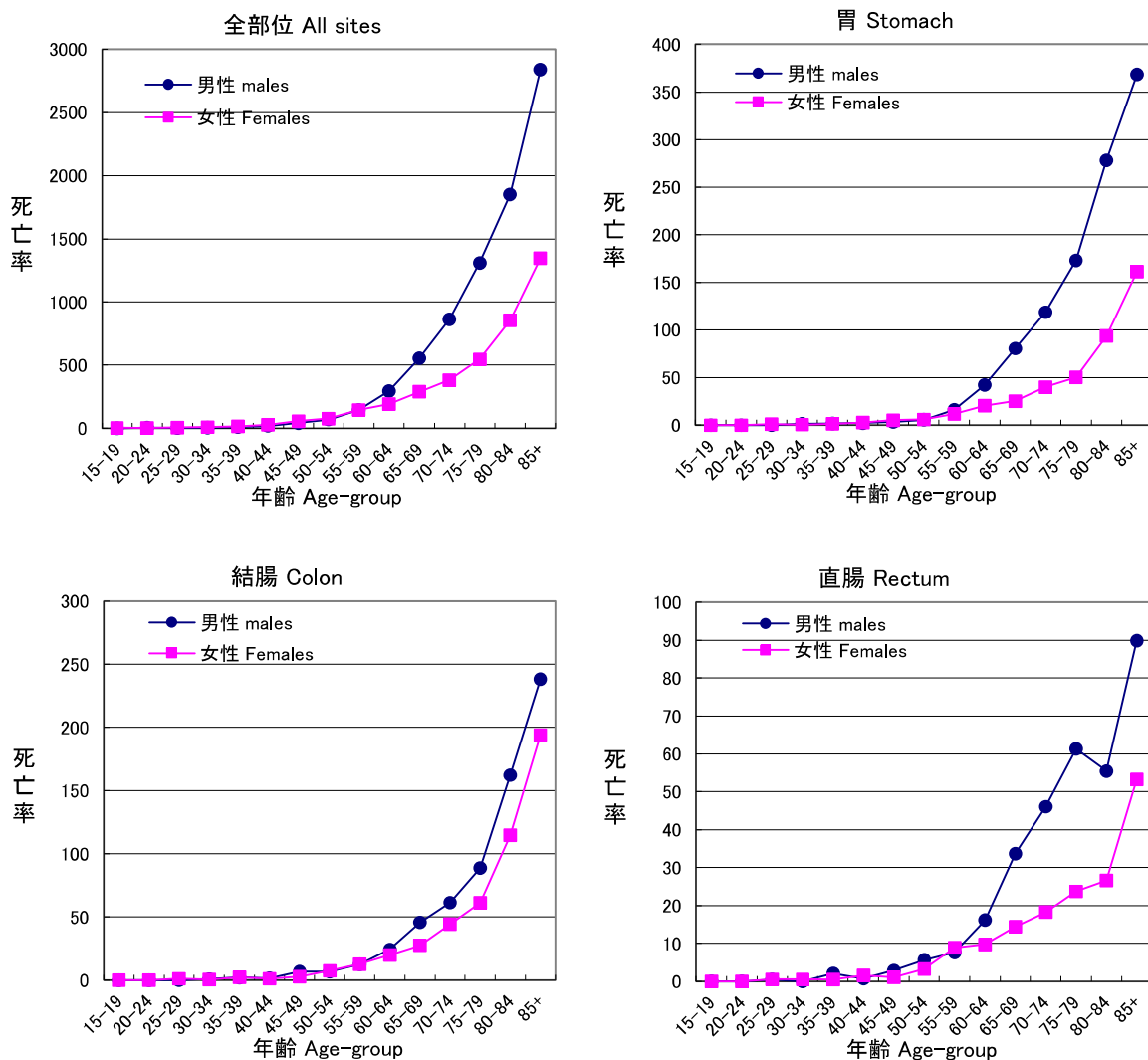
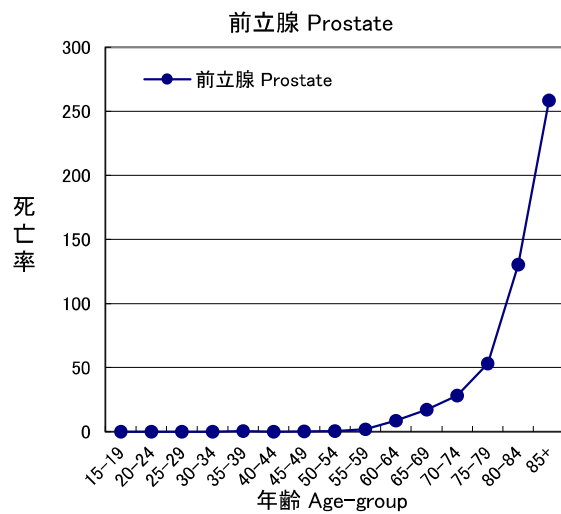
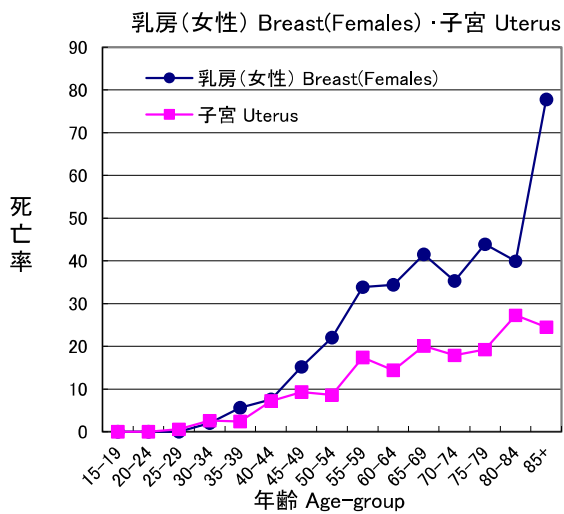
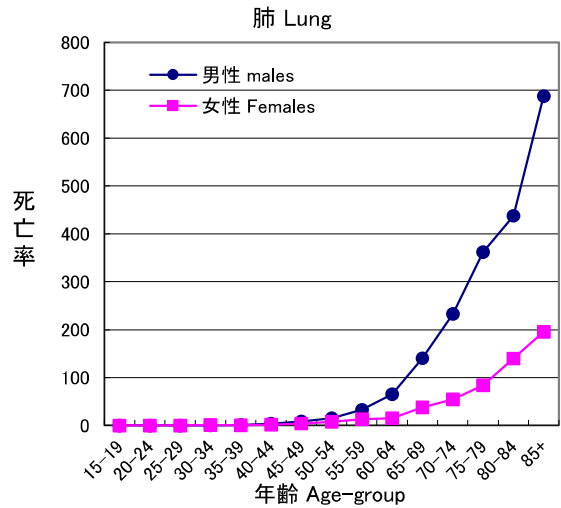
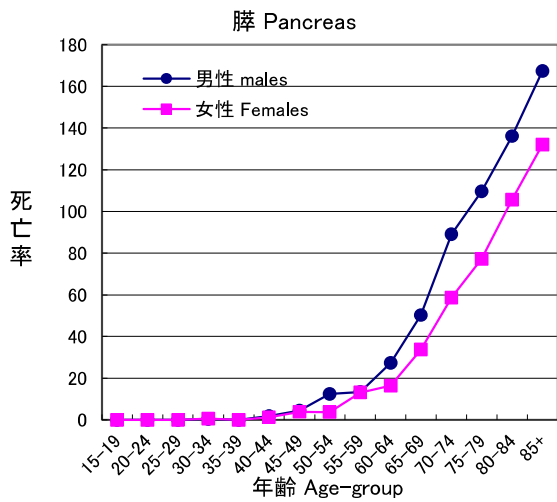
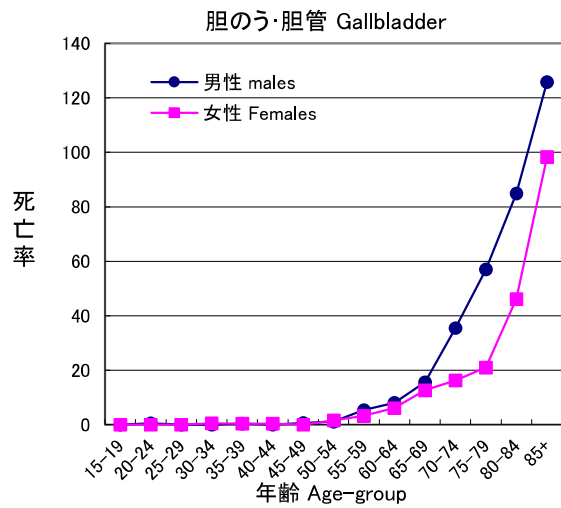
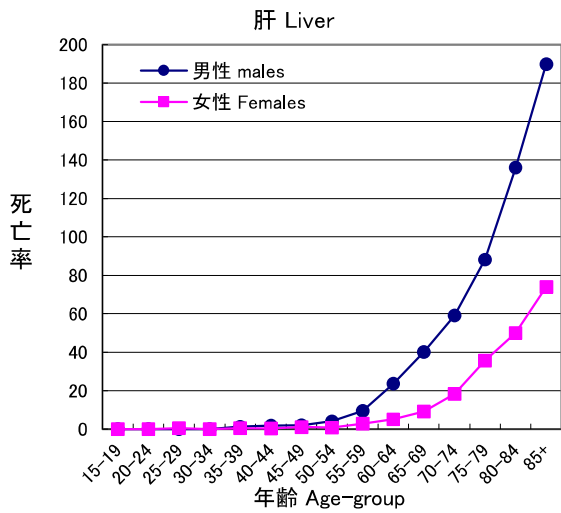


図11 部位別年齢階級別死亡率:人口10万対 (表11から作成)
Figure 11 Age-Specific Death Rates by Cancer site

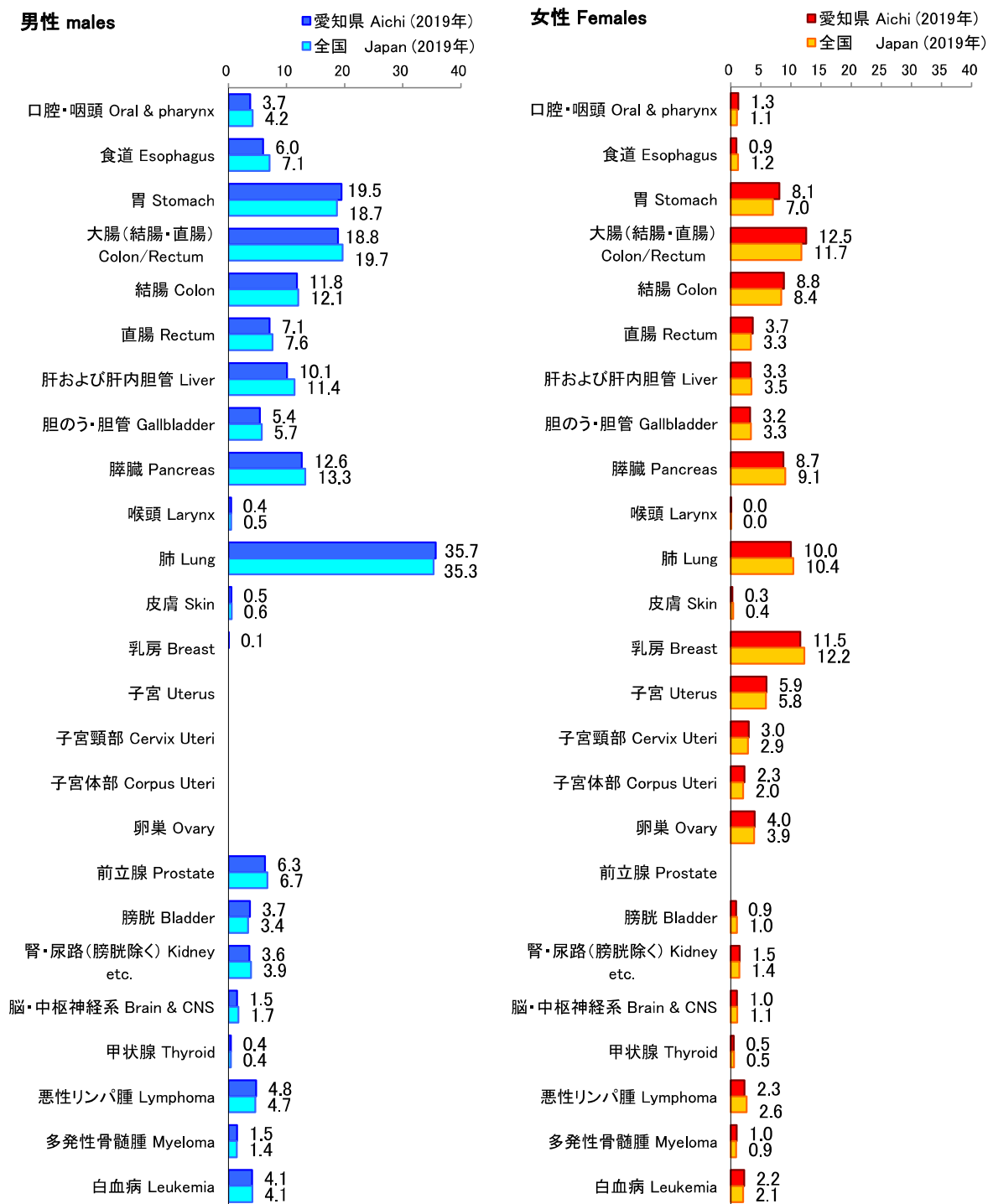




愛知県のがん死亡の特徴 Aspects of Cancer Death in Aichi

愛知県のがん死亡率を日本全体の値と比較すると、男女とも各部位においてほぼ同等であるが、男性の肝および肝内胆管ではやや低い傾向があり、男性の肺、女性の胃・大腸ではやや高い傾向がある(図12)。

図12 部位別がん年齢調整死亡率(日本人口による):人口10万対 (表9から作成)
Figure 12 Age-Standardized Death Rate by Cancer Site (by Japan population)



国の値は、国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(厚生労働省人口動態統計)より引用